

プレアビヒア

2020
December
No. 003

03

季刊2020秋号
Cambodia magazin

エコビレッジ今

Covid-19

エコビレッジの夜明け

(1) 希望のプロジェクト

(2) みんなの公園創り

(3) 農作物の命の水

プレアビヒア寺院
カンボジア・プレアビヒア州

プレアビヒア寺院の紹介・協会の活動

PVAJ
広報誌

目 次

1. 2020年エコビレッジ	1
2. カンボジアのCovid-19	3
3. 2020年エコビレッジの夜明け	4
(1)希望のプロジェクトへの期待	4
(2)美しい森とみんなの公園を目指そう	6
(3)農作物の命、みんなで水をつくろう	7

1. 2020年エコビレッジ

カンボジアの行政組織は① 州 (Province) ・市 (Municipality) 、 ② 郡・区 (District) 、 ③ コミューン (Commune) により構成されており、エコビレッジはプレアビヒア州チョムクサン郡 (Choam Ksant district) のスラエム共同体 (Sra Aem Commune) に属しております。エコビレッジを含むスラエムコミューンには7つの村があり、全体で3,400世帯12,700人が暮らしております。

No.	村名	世帯数	総人口	女性人口
1	Sra-Aem (スラエム村)	661	2,513	2,513
2	Eco-Village(エコ村)	1,179	4,104	2,006
3	Senchey (センチェイ)	376	1,443	597
4	Bosvob (ボスボブ)	145	596	286
5	Chambork senchey (チャンボークセンチェイ)	456	2,097	1,106
6	Bangkol Brambei (バンコルブランハイ)	242	1,050	483
7	Stung Kheav (スタンキエフ)	330	943	468
合計		3,389	12,746	6,295

(2018-2019年調査、National Authority for Preah Vihear調査)

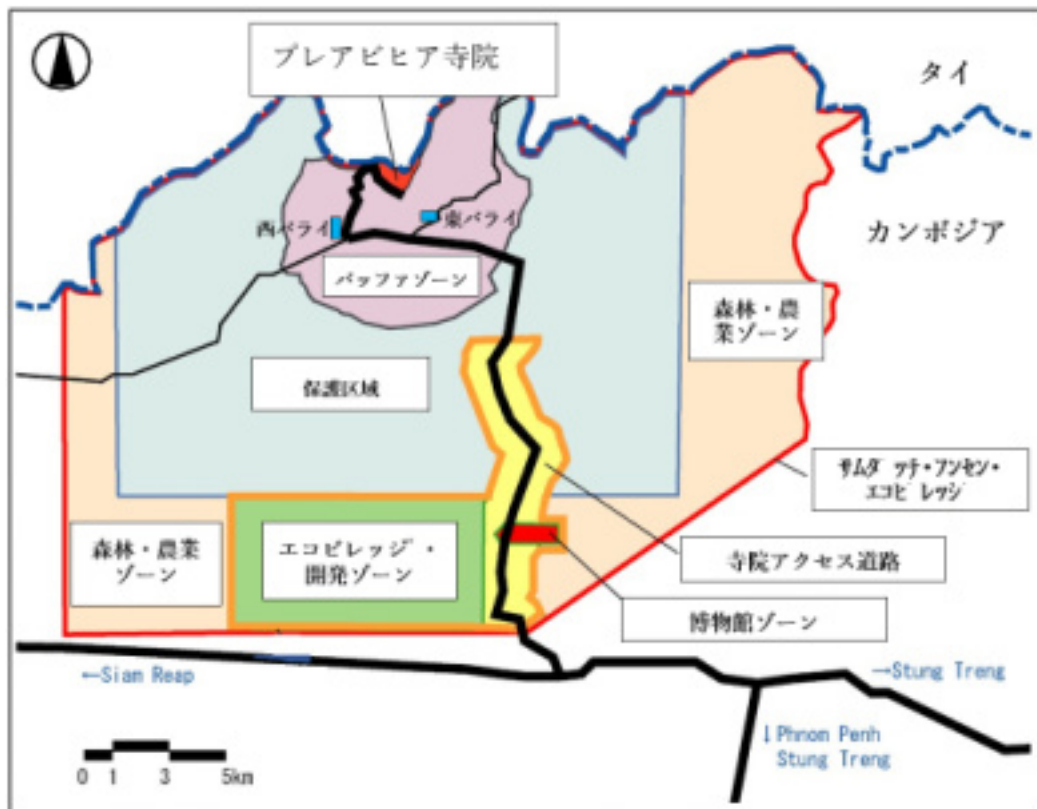
そして、この地域での一人当たりの年間所得は1,033,500リエル (255\$) です。

エコビレッジの主産業は農業ですが、エコビレッジも気候は東南アジアの特徴で雨期と乾期に区分けされ、雨季が6～10月、乾季が11月～5月です。雨の量は、およそ日本の平均と同じで、年間に1,700mmほどです。でも、12月～2月の3か月は雨がほとんど降らず、村は乾燥してしまいます。だから農作物も育ちません。

エコビレッジでの主な農作物は、ナス、キャベツ、レタス、大根、キュウリ、ハクサイ、トマト、ピーマン、玉ねぎ、オクラ、カボチャ、レモングラス、バジル、ミント、アロエ、パセリ、クレソン、ジャスミンなど多種にわたります。ただし、乾季のみ作付けされています。雨季は雨が多くて、作物の生育に適さないのと、時には洪水になり作物が流されてしまいます。

住民たちの希望は、乾季の短い期間に作物を育てて、なんとか一年を暮らせる収穫が得られることにあります。そのために、乾季の11月～3月までの期間、作物用の水が得られることが、この地域の未来にかかっております。

世界文化遺産プレアヴィヒア寺院のふもとは、西と東の両側に、大きなバライ（溜池）が建設されておりました。クメール農業の源となる灌漑用水が確保されていたことがうかがえます。かつては、このバライを中心にクメールの豊かな農業地帯が寺院の眼下に広がっていたことが想像されます。そして現在、プレアビヒア寺院が世界文化遺産に登録され、このバライも復元されました。しかし、今、寺院周辺は広範囲（430km²、山手線内側面積63-65km²の6.5-6.8倍）にわたり自然保護区域に指定され、バライの活躍する場にはなっていません。



山頂から望むエコビレッジ



乾季の乾燥した農地



乾季の多くの畑「水不足」



乾季の収穫「水さえあれば」

2. カンボジアのCovid-19

2020年1月、突如、世界は未知の感染症に出会い、瞬く間に多くの国で緊急事態宣言が出され都市のロックダウンが実施されました。ある日、突然に高熱が出て、咳の症状が発出。新型感染症への感染が案じられ、しかし、やがて高齢者や基礎疾患を持つ人々は、我先にと帰らぬ人となってゆく。世界は、今もまだ続く未知のウイルスとの戦いが始まりました。

2020年11月末

世界の感染者数：62,000,000人

死亡者数：1,450,000人（WHO）

カンボジア感染者数：350人

死亡者数：0人（カンボジア政府保健省）

日本感染者数：145,231人

死亡者数：2,118人（厚生労働省）

カンボジアも1月24日に、まだ感染者が出ていない段階で保健省が「新型コロナウイルスの感染症についての注意喚起」を発出し、3月14日にはイタリア、ドイツ、スペイン、フランス、アメリカの5か国からの入国禁止に踏み切りました。そして、3月15日にはイランを加える6か国からの入国を遮断し、3月19日にはベトナムとの国境を閉鎖し、22日にはタイとの国境を閉じました。そして3月30日には、とうとうカンボジアへの入国制限が発出され、世界中との往来が制限されました。

それから8か月、11月の今日になっても、カンボジア入国は制限されており、海外からの到着時には空港で感染症の検査が義務付けられ、さらに、その後14日間の自主隔離が求められています。そして14日後の再検査で感染が認められない時に初めてカンボジア内での移動や活動が許されています。観光で経済の多くを動かしてきたカンボジアから海外の観光客が消え、国中が経済的な困難に直面しています。

カンボジアの多次元貧困指数（MPI: Multidimensional Poverty Index、国連開発計画）は、2014年（最新の推計データ）で37.2%です。特に都市部は7%程度ですが、地方では40%にもなっています。これは総人口16,500,000人のうち6,150,000人が健康、教育、生活水準等で十分でないことを表していますが、こ

の新型コロナウイルスの影響で、さらに増加に向かっております。早く、New Normal新しい生活様式になり、皆さんが健康で安全に暮らせる国になることを願っています。



人影のないアンコールワット



シムリアップも空虚

3. 2020年エコビレッジの夜明け

(1) 希望のプロジェクトへの期待

カンボジアの季節は、雨季と乾季のふたつ。多すぎる雨が降る雨季。主産業の農家にとって、たくさんの雨では作物が実らない。雨季の始まる6月からは、徐々に雨が降る日が増えてきて、特に夕方の強い雨のあとは畑も道路も水浸しになります。雨期も後半になる、8月を過ぎてくると、青い空がだんだんと暗くなり、空にはぶ厚い雲が雨の到来を知らせ、そして一斉に土砂降りの雨が降ります。いわゆるスコールです。30分から1時間で雨はやみますが、一面水浸し。毎日毎日スコールが繰り返され、川は溢れ、畑はぬかるみ、道路は水たまりとなって、農業どころではありません。



あっという間に冠水



雨の耕作地



雨季の農地は水没

しかし、10月末、徐々に雨の降る日が少なくなり、待望の乾季がやってきます。期間は11月から翌年4月。北半球なので、最低気温は17-18℃まで下がりますが、最高気温は30-35℃にもなります。この間、特に12月～3月の雨は月全体で28～34mmとなり、日平均で1mm程度です。そのため、大地は乾燥し、草木は枯れてしまいます。

プレアビヒア寺院気候 (2015-2019)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高温度 (℃)	31	33	35	36	34	32	32	31	31	31	31	30
最低温度 (℃)	17	19	22	24	24	24	24	24	23	22	20	18
降水量 (mm)	18	28	34	75	199	259	288	337	302	140	57	28

2020年2月、日本政府外務省による「日本 NGO 連携無償資金協力 (N 連)」に「プレアビヒア・エコビレッジ地区農業強化の溜池建設事業」が採択され、乾季の農業用水の供給施設整備と試験耕作がスタートしました。乾季農業の実施と収穫は、エコビレッジの住民のかねてからの希望で、2020年に事業が着手され2021年1～3月には試験耕作が行われます。地域の長年の夢が実現します！！



N連事業大使館署名式(2020年2月25日)



署名式記念撮影



N連事業現地説明会



N連事業溜池



N連事業着工式（2020年9月4日）



N連事業看板



2020年地元事業説明会集合写真



2020年地元事業説明会（2020年2月27日）



2020年地元事業説明会（2020年2月27日）

(2) 美しい森とみんなの公園を目指そう

2020年1月、現地では「トヨタ環境活動助成プログラム」が開始されました。「カンボジア王国世界文化遺産プレアビヒア・エコビレッジ地区美しい森づくり活動」としてエコビレッジ地区を中心に、地域住民が一丸となって将来の、環境地域実現に向けた森づくりを開始しました。

エコビレッジ地区は、典型的なモザイク状森林地帯で、農耕地と森林がモザイク状に入り混じった環境を作っており、その環境は日本の里山環境に似ており、森と農耕地の境界や明るい森林を好む生物が生息できる多様性の高い地域となっております。しかし、残念な事は、カンボジアの農業における典型的な技術である焼き畑農業が今でも継続されており、2-4月の乾季に森林と雑草が焼き払われ、高木が育ちづらいという環境にもなっております。

将来に向けた、森林整備と、新しい環境創造が地域の未来をつくることとなります。そこで、今年度のトヨタプログラムで、エコパークにて、花畑公園、果樹公園、森林公園を住民の皆様と作り上げる目標をかかげ、5,000本の植樹を目指しております。数年以内に、美しい公園が、エコビレッジの中に出てくることを、地域の方々と夢見ております。ぜひ、会員の皆様方も、この公園の完成を期待してください。皆様方の応援もお願いいたします。



エコパーク現在



エコパーク公園計画

(3) 農作物の命、みんなで水をつくろう

N連による溜池が完成し、貯水タンク、ソーラーシステム、揚水ポンプ、溜池導水路と水車、農地への導水パイプネットワーク、設備管理ハウスなどが整備できました。

現地は11月から乾季になり、雨も少なくなり、本格的な乾燥期になっています。溜池の水が、乾季農業の試験を行う50軒の農家に運ばれて、作付け試験が始まります。これまでの乾季には、水の確保ができず、耕作が出来ませんでした。今年の乾季は、水が得られます。2021年3~4月には、農家の方々の笑顔が溢れる事を願っています。

① 溜池建設

50m×40m×3~3.5m（深さ）の溜池が、荒地の中に3基出来上がりました。すでに、水が貯められています。現地の皆様の希望の水です。



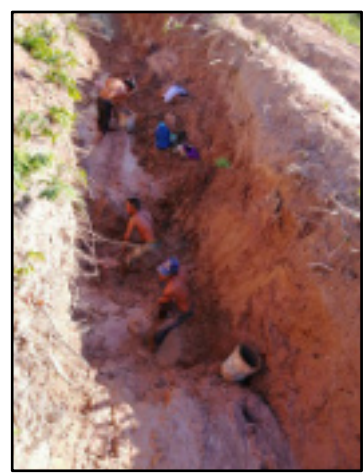
N連事業完成溜池（2020年11月20日）



N連事業完成施設（2020年11月30日）

② 取水路

近隣の川から、溜池に水を引き込みます。



河川から溜池への取水路建設

③ 揚水水車

取水路から溜池に水を汲み上げる揚水水車を設置しました。直径4mで40の柵が32個、1280を1回転でくみ上げます。設計上は毎分3回転（20秒で1回転）を計画しており、3840／分の揚水能力です。



水車台基礎工事



水車遠景



水車設置

④ 貯水タンク・ソーラー電源・揚水ポンプ

溜池から農場まで配水するために、ソーラー発電電源による揚水ポンプで3mの高さまで水を汲み上げ（溜池底から最大揚程9m。池部分4m、タンク底部まで3m、タンク高さ2m）タンクに貯水し、タンクからは自由落下で農場まで送水されます。農場では分岐の給水栓を開けると水が得られます。



ソーラーパネル台座



貯水タンク設置

⑤ 設備管理施設（保管倉庫）

設備は、乾季の11月～4月の期間に稼働することとなり、雨季の時間は保管倉庫に保管し保存する事となります。



設備保管倉庫



設備保管倉庫

プレアビシア・エコビレッジは、今日も乾季の青空が広がっています。今年こそは、乾季の農作物の生育を、全員で期待しております。



会 員 資 格 と 特 典 (参考)

2020. 11

項目	正会員（一般）	賛助会員（一般）	賛助会員（学生）	賛助会員（企業・団体）
入会金	10,000円	無	無	無
年会費	10,000円	3,000円以上	1,000円以上	30,000円以上
総会議決権	有	無	無	無
会 報	冊子／電子データ	電子データ	電子データ	冊子／電子データ
WEBへのバナー表示	—	—	—	希望により可
事業参加	全事業可	一部事業参加可	一部事業参加可	全事業参加可

NPOアジアの誇り・プレアビヒア日本協会 会員情報
(2020年11月30日時点)

会員種別	会員数
正会員	23(△8、賛助会員移行、△4、退会)
賛助会員（一般）	34 (△8、退会)
賛助会員（企業・団体）	3(△2正会員に移行)

入会ご希望の方は、同封の入会申込書をお送りください。事務局より連絡いたします。
あるいは、http://preahvihear.org/admission/adm_form.htmlにアクセスし、お申し込みください。

プレアビヒア 2020-03 (PVAJ会報誌)
Cambodhia Magazine

2020. 11. 30発行

特定非営利活動法人 アジアの誇り・プレアビヒア日本協会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2丁目4-4 明治書房ビル2階
<http://www.preahvihear.org>
Tel:03-03-5259-507 e-mail:contact@preahvihear.org